

# 流木の効率的な処理方法の調査・研究

北海道帯広工業高等学校  
流木処理研究班

名波 慶亮 広瀬 健悟 村田 琳

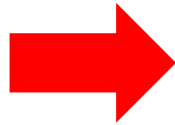


今までの流木処理方法

チップ化

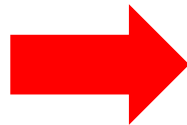
おが粉

バイオマス



コストが高い

腐朽させて土に返す  
研究が成功すると



コストが削減できる





既存林に置かれた半埋設状態



礫質土の上に置かれた状態



流木塊の中に置かれた状態



土壤に接していない状態



「流木」：平成28年8月出水の際に流木化したものと推定されるもの。

「伐採木」：平成29年の試験開始に当たって、残存河畔林から伐り出して試料としたもの。

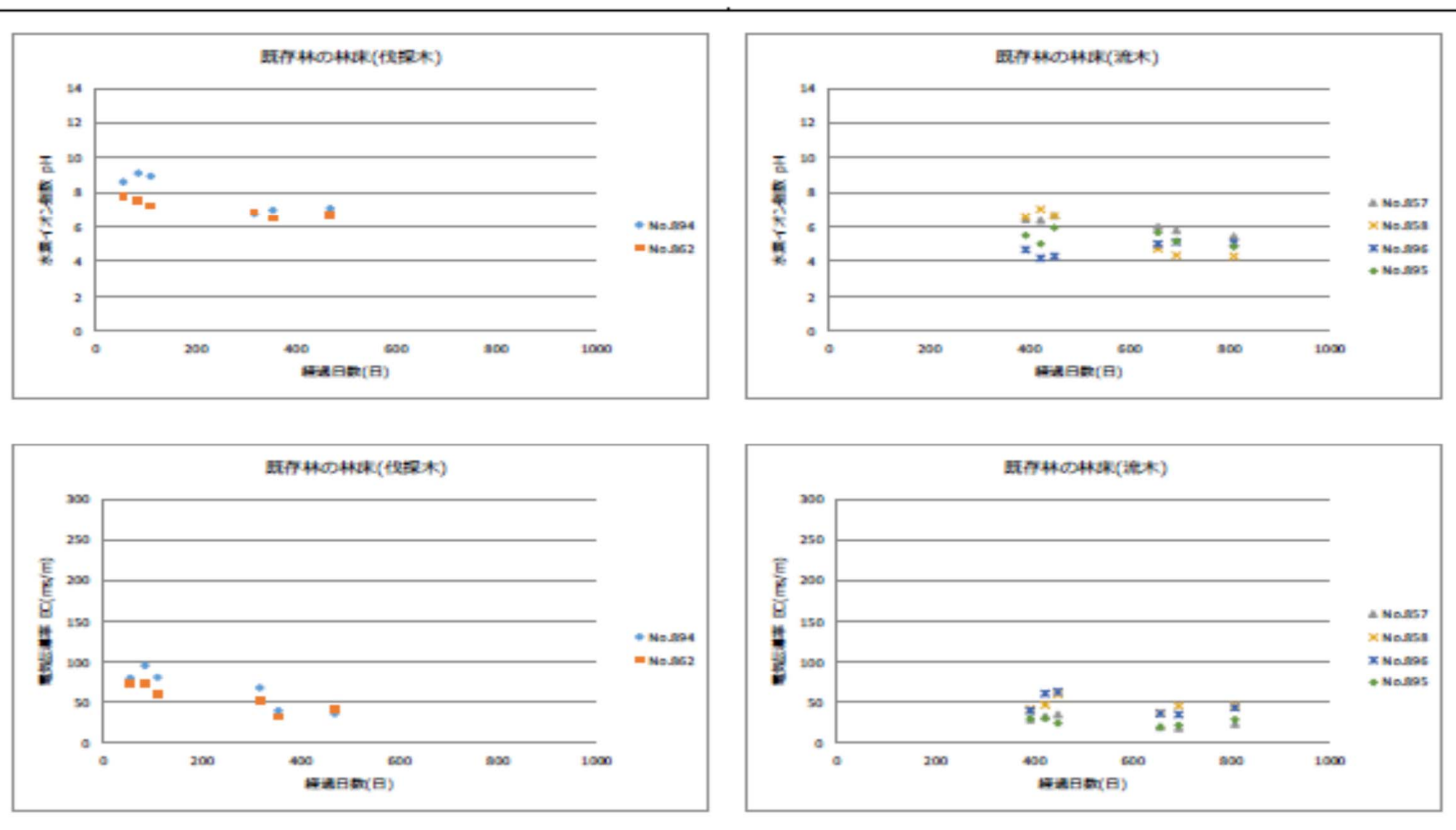


図 II-125 水素イオン指数 (pH) 及び電気伝導率 (EC) と経過日数の関係 (既存林の林床)

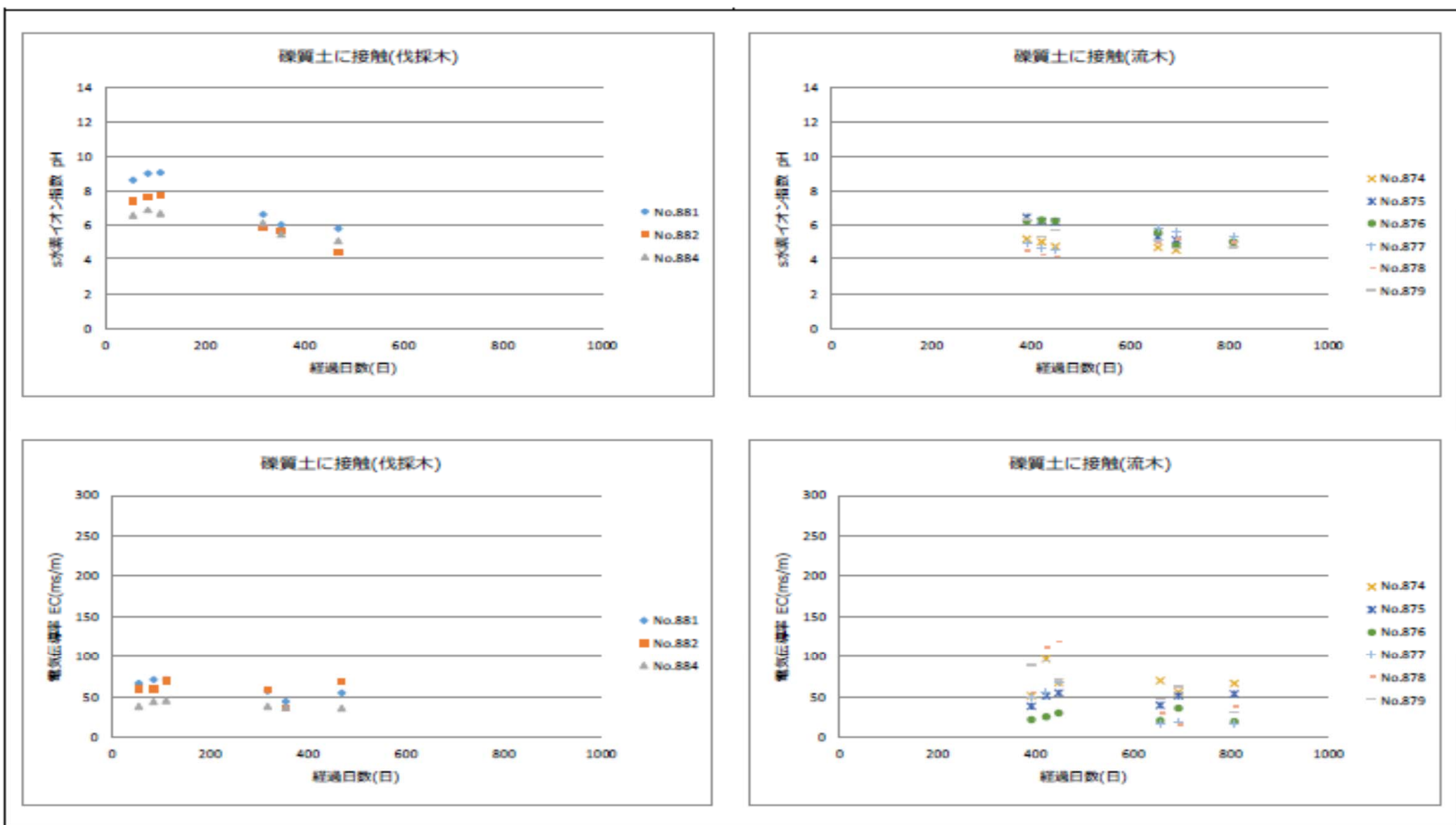


図 II-124 水素イオン指数 (pH) 及び電気伝導率 (EC) と経過日数の関係 (礫質土に接触)

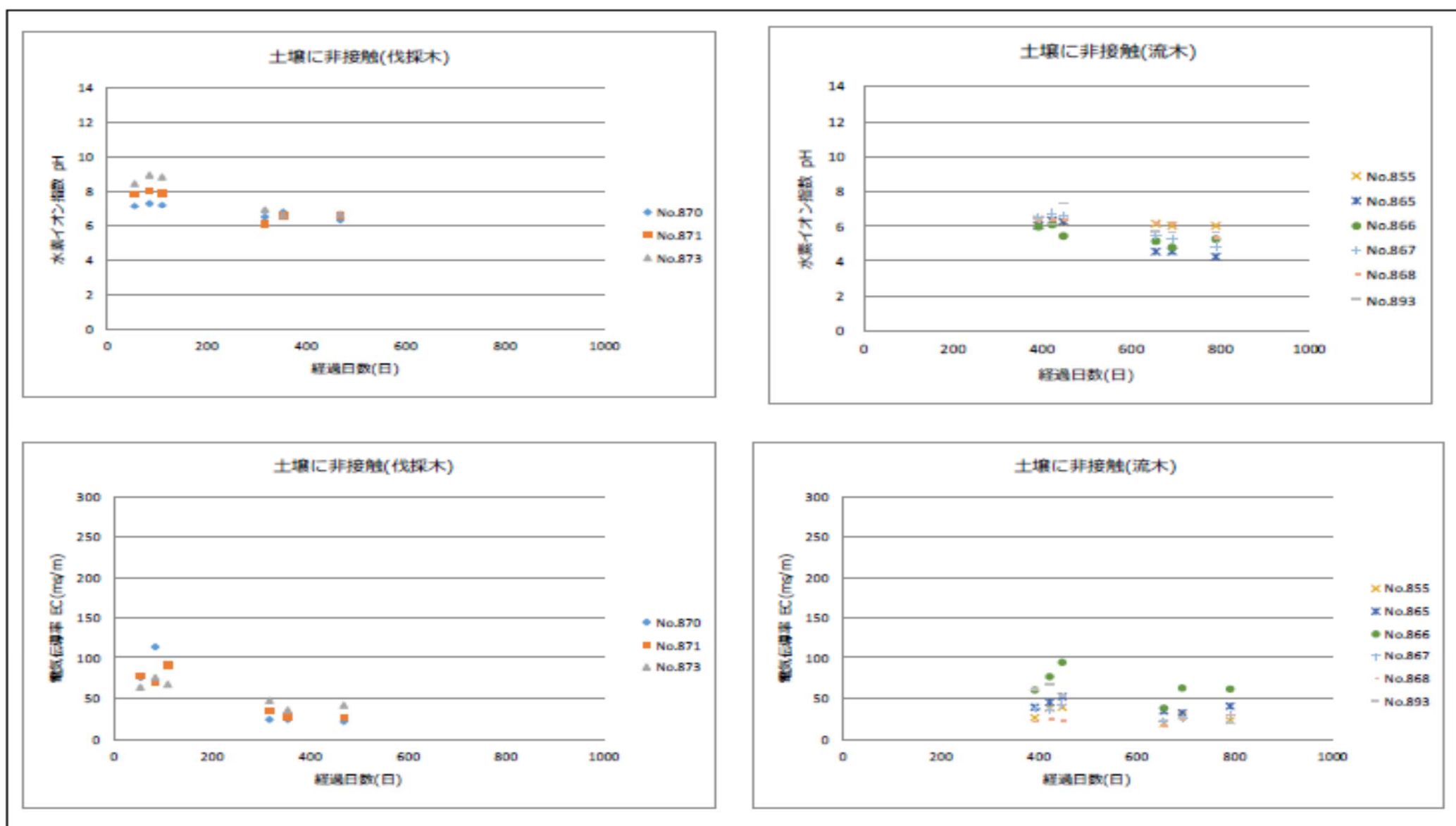


図 II-123 水素イオン指数 (pH) 及び電気伝導率 (EC) 経過日数の関係 (土壌に非接触)

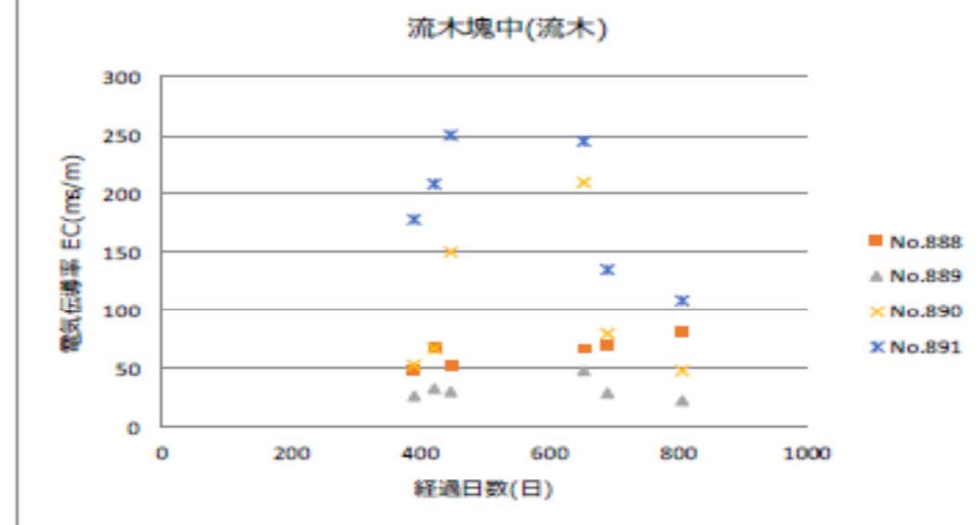
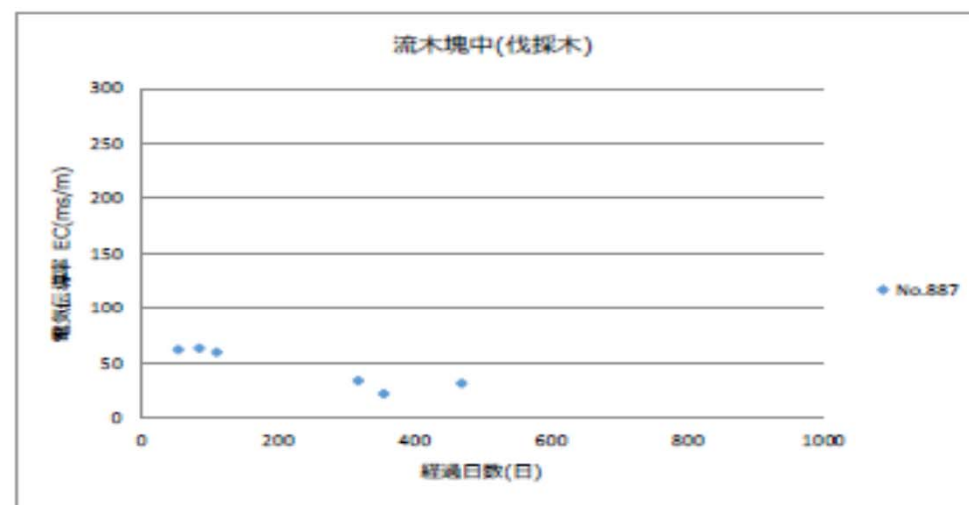
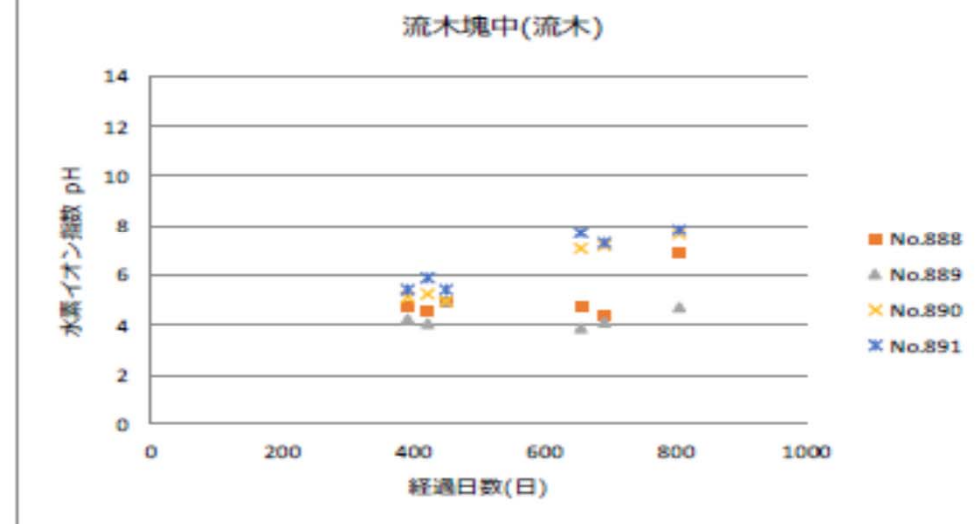
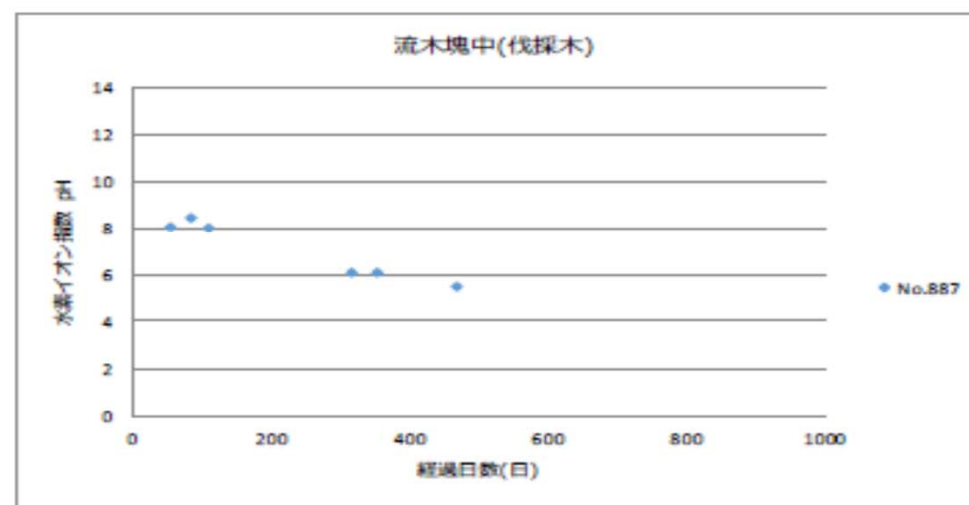


図 II-126 水素イオン指数 (pH) 及び電気伝導率 (EC) と経過日数の関係 (流木塊中)



## 伐採木（各調査区全て）

水素イオン指数 : 当初、弱アルカリ性だったが、腐朽が進むにつれて酸性に傾いた。

電気伝導率 : 時間経過に伴って低下。

## 流木（流木塊以外）

水素イオン指数 : 伐採木と同様に低下していくが、一年間の変化は伐採木に比べて小さい傾向。

電気伝導率 : 試料木毎に異なっている。

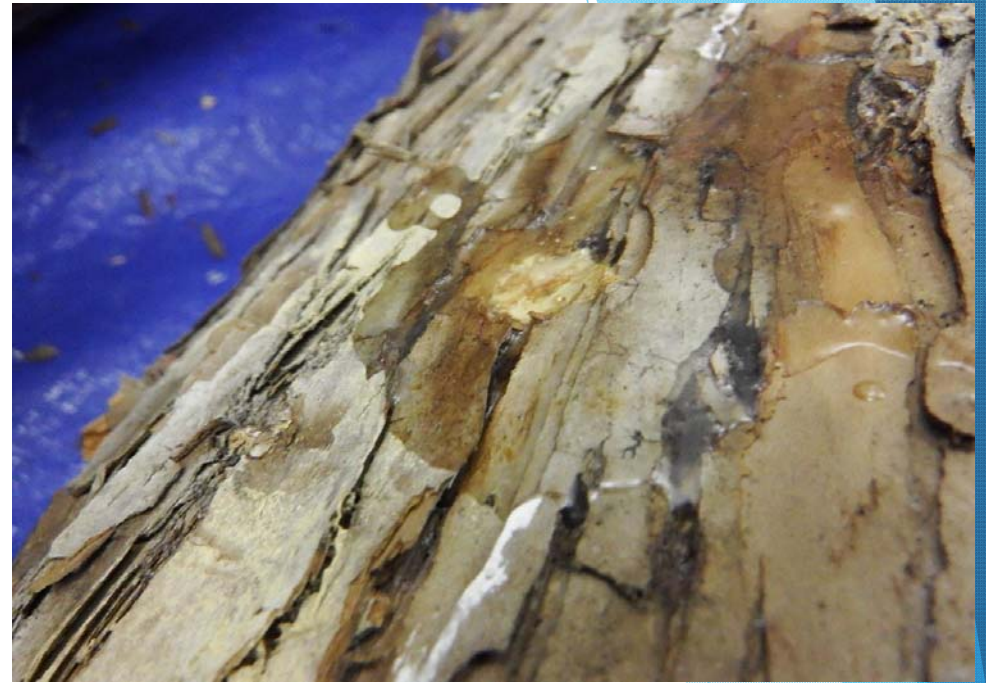
## 流木塊中（流木）

水素イオン指数 : 経年変化に伴ってpHが増加するものも見られる。

電気伝導率 : 一定の値を超える値まで上昇した後、半分以下の値に低下。



加湿器で湿度を管理した  
部屋においた流木



封ロウした菌





発表中



表彰式





ご清聴ありがとうございました。